



# 第95回 日本病理学会総会



The 95th Annual Congress of The Japanese Society of Pathology

## 会長

坂本 穆彦 杏林大学医学部病理学教室

## 副会長

藤岡 保範 杏林大学医学部病理学教室

## 会期

平成18年4月30日(日)、5月1日(月)、5月2日(火)

## 会場

京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1  
TEL: 03-3344-0111 (代)



## 宿題報告

- 1 がん微小環境と浸潤・転移機構**  
—臓器特異がん転移機構解明と治療法開発の試み—  
落合淳志 (国立がんセンター 臨床開発センター 病理)
- 2 糸球体腎炎：発症・進展そして糸球体硬化**  
追手 巍 (新潟大学腎臓病研究施設機能制御学分野)
- 3 貪食白血球の浸潤諸パターンを担う新規の白血球走化因子について**  
山本哲郎 (熊本大学医学薬学研究部分子病理学)

## 特別講演

- 1 言葉も生きている**  
—若者言葉や流行語をめぐる—  
金田一秀穂 (杏林大学外国語学部)
- 2 やれば、できる**  
小柴昌俊 (東京大学特別栄誉教授)
- 3 Thyroid carcinogenesis**  
Sir. Dillwyn E. Williams, MD  
(University of Cambridge, UK)
- 4 The present and future of pathology in the United States**  
Ricardo V. Lloyd, MD  
(Mayo Clinic College of Medicine, USA)
- 5 Topics in gastrointestinal pathology**  
Albert Roessner, MD  
(University of Magdeburg, Germany)

## シンポジウム

- 1 BRCA 異常と婦人科腫瘍**  
座長：小山徹也 (獨協医科大学病理学)  
田中憲一 (新潟大学医歯学総合研究科産婦人科学)
- 2 RNA 発現調節異常に起因する疾患**  
—RNA 研究の最前線の知見から発症機構に迫る—  
座長：仲野 徹 (大阪大学医学系研究科病理病態学)  
塩見春彦 (徳島大学ゲノム機能研究センター)
- 3 幹細胞システムと発癌**  
座長：中内啓光 (東京大学医科学研究所幹細胞治療)  
菅間 博 (杏林大学医学部病理学)
- 4 病理診断に役立つ免疫組織化学の新しいマーカー**  
座長：梅村しのぶ (東海大学医学部病理学)  
飯原久仁子 (杏林大学医学部病理学)
- 5 アスベスト曝露とその関連疾患**  
座長：井内康輝 (広島大学医歯薬学総合研究科病理学)  
樋野興夫 (順天堂大学医学部病理学)

## 公開シンポジウム もっと知ろう あなたの乳がん治療

### その他

ワークショップ、一般演題(口演・示説)、診断講習会、  
ランチョン/イブニングセミナー  
新企画：学生ポスター演題発表[4月30日(日)]  
コンパニオンミーティング[4月30日(日)、  
5月1日(月)]

事務局/杏林大学医学部病理学教室

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2  
TEL: 0422-47-5511(代) FAX: 0422-40-7093  
http://www.gakkai.co.jp/jsp95/  
Email: jsp95@kyorin-u.ac.jp